

令和2年度

学校関係者評価報告書

岡山自動車大学校

令和3年 10月 7日

岡山自動車大学校
校長 原田公德 殿

学校関係者評価委員会
委員長 山本 茂

学校関係者評価報告書

令和2年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- 山本 茂 (学校法人第一原田学園 評議員)
藪木 隆宏 (一般社団法人 岡山県自動車整備振興会 事業部 課長)
片山 貴志 (岡山トヨタ自動車株式会社 人事グループ マネージャー)
松岡 正志 (岡山ダイハツ販売株式会社 人事部)

2 学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会 令和3年9月28日 (会場 岡山自動車大学校 会議室)

3 令和2年度学校関係者評価報告

学校関係者評価委員からの主な意見

(1) 教育理念・目的・人材育成像 教育理念、教育目標、人材育成像など分かりやすく定められており、適切である。
(2) 学校運営 組織運営については問題ないと思われる。 特定整備工場の認証を岡山県第一号として取得したことの報告。
(3) 教育活動 資格要件を備えた教員が昨年度より1名増え、多数確保できていると評価できる。
(4) 教育成果 関連業界への就職100%がキープできていることの報告。 また二級は20年連続、一級は3年連続で100%合格を達成できたことの報告。
(5) 学生支援 学生食堂の評価項目を1ポイント下げたことの確認。 食堂での提供は中止し、希望学生は昼食宅配業者からの購入になったことの報告。

(6) 教育環境

災害時の防災対策は何か行っているかとの意見。
特定整備制度のスタートに併せエーミングサポートツール、専用車両等の導入も計画通り整備したことの確認。

(7) 学生の受入れ募集

留学生の受け入れに関しては今後も予定していないが、検討事項ではある。
学校ホームページへ体験入学の動画を公開していることの報告。

(8) 財務

評価は適正で特に問題ないと思われる。

(9) 法令等の遵守

特に提言なし。

(10) 社会貢献・地域貢献

特に提言なし。

総括

評価は変更ないが、全体としては特に問題はなく、適切に評価されている。
もっと評価が高くてよい項目もある。

今後も継続して適切な学校運営をしていただきたい。

学校関係者評価委員会からの意見をうけて学校の今後の取組み・改善

(1) 教育理念・目的・人材育成像

一級は3年連続で100%合格を達成しているが、今後も問題の難易度に関わらず合格率をキープしていきたい。
コロナの影響で学校行事が相次いで中止となり今後の教育活動のあり方を根本的に考える必要がある。

(2) 学校運営

授業ではリモート教育導入などを含め、今後の対応が大きな懸念事項である。

(3) 教育活動

今後も教科教育の指導力の向上、および教員のスキルアップを図っていきたい。
また全国自動車大学校・整備専門学校主催の教員研修にも適宜参加していきたい。

(4) 教育成果

就職においては関連業界への就職100%がキープできているので今後もキープし続けていきたい。

(5) 学生支援

教職員及び学生のコロナ感染防止を周知徹底し、感染者が出た場合、感染拡大しないよう迅速な対応に取り組んでいく。

(6) 教育環境

防災関連の対策ができていないので、今後避難訓練や防災教育等に取り組んでいきたい。

(7) 学生の受入れ募集

留学生の受け入れに関しては今後も予定はしていないが、検討事項ではある。

(8) 財務

評価項目を確認し、特に提言なし。

(9) 法令等の遵守

評価項目を確認し、特に提言なし。

(10) 社会貢献・地域貢献

特に提言なし。

総括

学校関係者委員からの評価は良好であり、本校の自己評価は適切であると考えられる。

今回の委員会では前回の委員会と比較し、提言等は少なかった。そういった中で委員から出された意見に関しては教職員一同真摯に受け止め、対応・改善していきたい。

委員の意見・提言がより出しやすいように評価項目自体も今後も常に見直していきたい。